

CADEWA Real 2011 SP2 の更新内容

CADEWA Real 2011 SP2 (Service Pack 2) には、CADEWA Real 2011 発売以降の機能追加・機能改善が含まれています。

以下に CADEWA Real 2011 SP2 での機能追加・機能改善を記載いたします。

2012年3月

Copyright (C) 株式会社四電工

Copyright (C) 株式会社富士通四国システムズ

機能追加及び機能改善項目

【基本機能】

1. CAD 環境の設定 【機能改善】

- 「作画設定」の初期化を行う際、インストール時に選択した背景色の推奨設定で初期化するように改善しました。

2. プロパティコマンド 【機能追加・機能改善】

- 要素選択時、コンテキストメニューの「プロパティ」からプロパティまたはプロパティ注釈コマンドを選択して起動する機能を追加しました。



- プロパティコマンド起動時、要素の先選択状態を破棄するように改善しました。

3. レイヤ分解コマンド [機能改善]

- 選択移動/複写、削除モードで、要素選択後に分解ウィンドウに戻った際、前回の表示位置に戻るよう改善しました。

4. 自動保存 [機能改善]

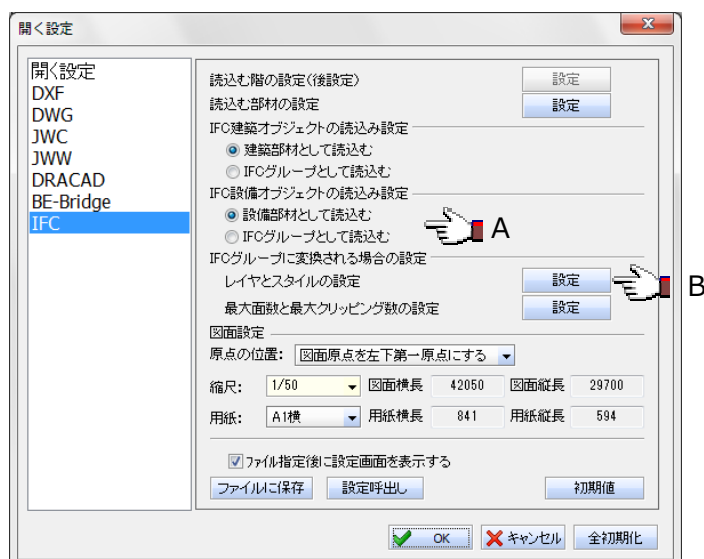
- 異常終了時の図面を次回起動時に開いて ZDX 保存を行った図面についても、自動保存を作成するよう改善しました。

5. 開く (DXF, DWG) コマンド [機能改善]

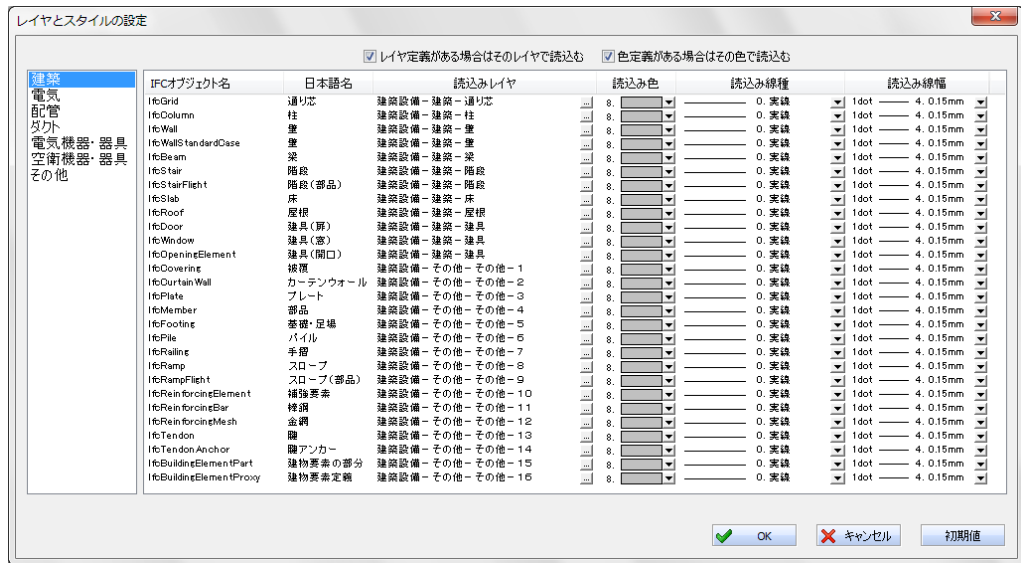
- 異常な情報を持つマルチ引出線が存在する場合に、マルチ引出線を読み込まないことで図面の読み込みが行えるよう改善しました。
- 複数の参照図面読み込み時にエラーが発生すると、エラー以降の参照図面が読み込まれていなかったため、読み込むよう改善しました。

6. 開く (IFC) コマンド [機能追加・機能改善]

- 部材が存在しない階 (フロア) についても、IFC ファイルに記述されている階 (フロア) 情報を読み込むよう改善しました。
- IFC ファイルに記述されている電気・配管・ダクト部材を、CADEWA の部材として読み込む機能を追加しました。(下図 A 部分)
- IFC グループで読み込む場合のレイヤとスタイルを、「IFC ファイルに記述されている情報」または、「IFC オブジェクト毎の設定」で読み込むよう改善しました。(下図 B 部分)



※「B」ボタンを押すと、以下の設定ダイアログが開きます。

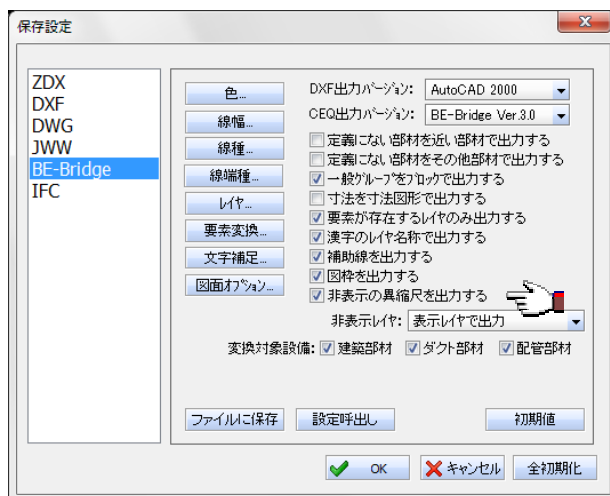


7. 名前を付けて保存 (DXF, DWG) コマンド [機能改善]

- ハッチングのパターン情報が異常であっても、形状を維持して出力するように改善しました。
- 中心点と長軸の座標が同一である異常な楕円が存在していても、エラーとならず図面が変換できるように改善しました。
- ブロック名の先頭が空白である異常なデータの場合に、空白部分を_ (アンダライン) に置き換えることで保存が行えるように改善しました。

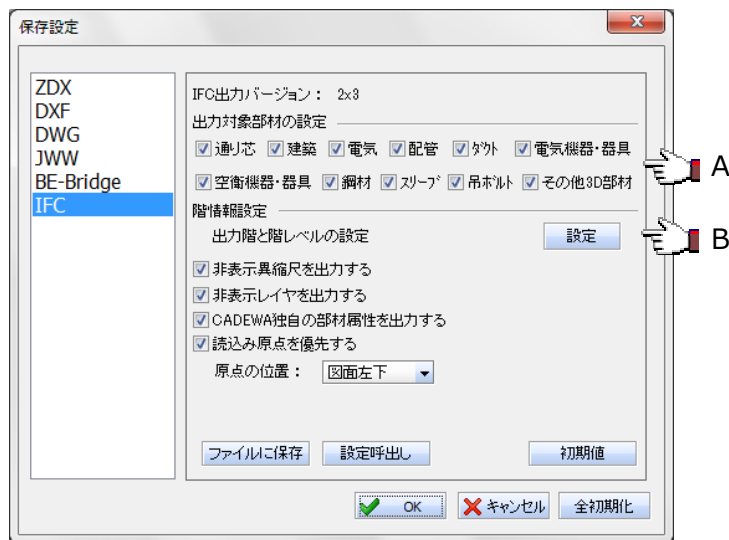
8. 名前を付けて保存 (CEQ) コマンド [機能改善]

- 非表示の異縮尺要素を出力する、しないの設定を追加しました。



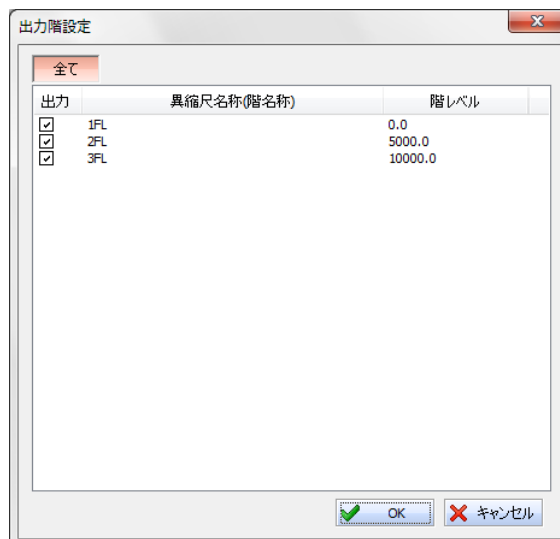
9. 名前を付けて保存 (IFC) コマンド [新機能]

- 「出力対象部材の設定」項目 (下図A) 部材の CG 形状と属性を、IFC ファイルに出力する機能を追加しました。
- IFC ファイルを出力する際の設定ダイアログについて、説明します。



- ① 出力対象部材を設定します。
- ② 出力対象階と階レベルを設定します。

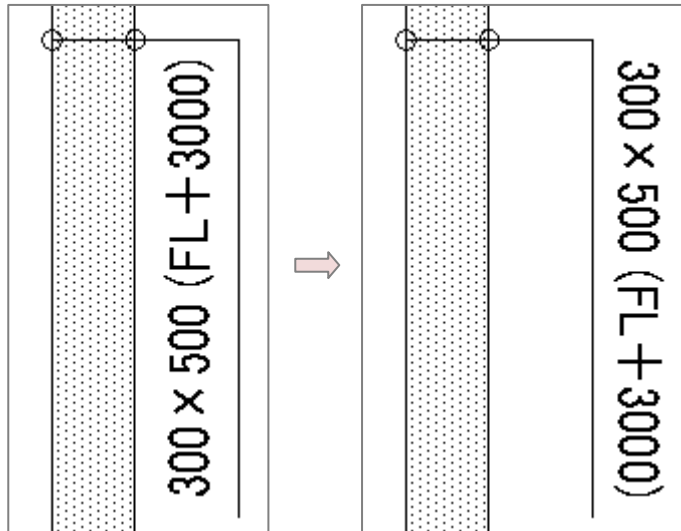
(※ 「B」 ボタンを押すと、以下の設定ダイアログが開きます)



- ③ 非表示異縮尺を出力する, しないを設定します。
- ④ 非表示レイヤを出力する, しないを設定します。
- ⑤ CADEWA 独自の部材属性を出力する, しないを設定します。
- ⑥ 図面原点の設定として、「読み込み時の原点を利用/図面左下/図面中央」を設定します。

10. 文字スタイルの変更コマンド [機能改善]

- 引出線付き一段のサイズ注釈を反転する際、飾り線を基準に反転するように改善しました。



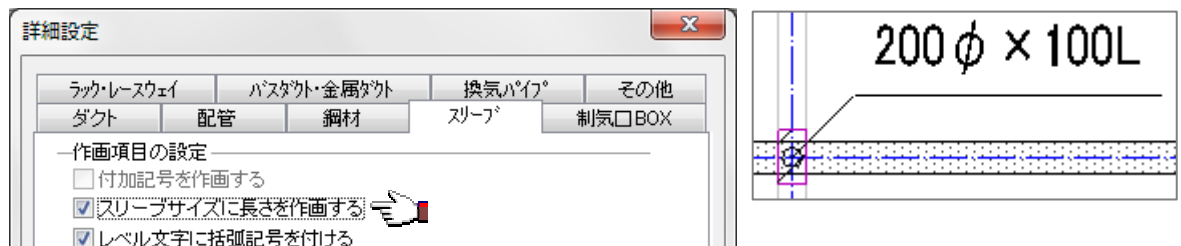
【設備共通機能】

1. スリーブコマンド [機能追加・機能改善]

- H鋼梁に作画したスリーブの材料集計対象フラグを、「集計対象」で出力するように改善しました。
- スリーブ作画時、IFCグループの構成要素を指示できるように改善しました。

2. サイズ注釈コマンド [機能追加・機能改善]

- スリーブに対して、長さを作画する機能を追加しました。



- 空調・衛生部材のダクトフレキに対して、指示位置のレベルを作画するように改善しました。

【建築機能】

1. 通り芯コマンド [機能改善]

- 通り芯の編集で、「通り芯余裕長 X」、「通り芯余裕長 Y」、「通り芯余裕長 Z」、「通り芯寸法 1 段目長」、「通り芯寸法 2 段目長」情報を獲得する際、スケールを考慮するように改善しました。
- 「通り芯余裕長 X」、「通り芯余裕長 Y」、「通り芯余裕長 Z」の設定最小値として、0.0 を指定できるように改善しました。
- 詳細設定ダイアログの「作画寸法」、「作画設定」、「立面設定」に、数値用の初期値ボタンを追加しました。

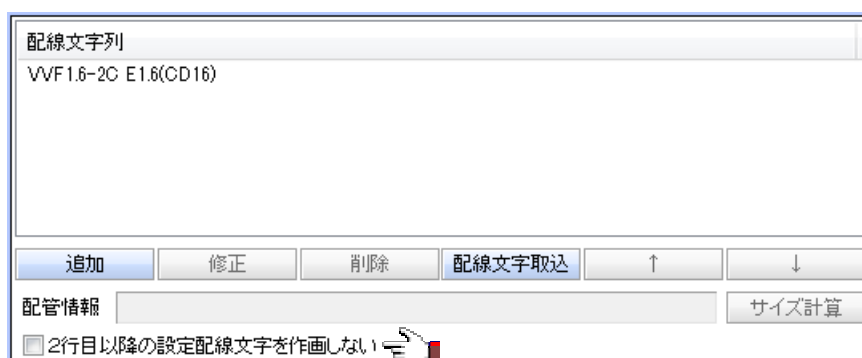
【電気機能】

1. 機器・器具配置コマンド [機能改善]

- 「検索」・「履歴」からの配置も、マスタレベルを設定するように改善しました。

2. 配線文字コマンド [機能追加]

- ダイアログ内にある配線文字を「2 行目以降の設定配線文字を作画しない」設定を追加しました。



3. 材料集計コマンド [機能改善]

- 隠線された配線を含めた配線要素の合計長が0.1m以上の場合は集計するように改善しました。

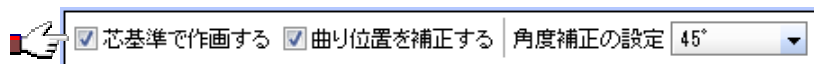
4. 幹線サイズ計算コマンド [機能改善]

- 設計電線種別及びサイズを変更した場合、設計負荷電流による電圧降下の値に反映されるように改善しました。
- 設計負荷電流による電圧降下の合計値を、備考に出力するように改善しました。
- 許容電圧降下がマイナスの場合に黄色表示するように改善しました。

【空調・衛生機能】

1. ルート作画コマンド 【機能追加・機能改善】

- 複線丸ダクト，複線配管作画時に、面基準で作画できる機能を追加しました。

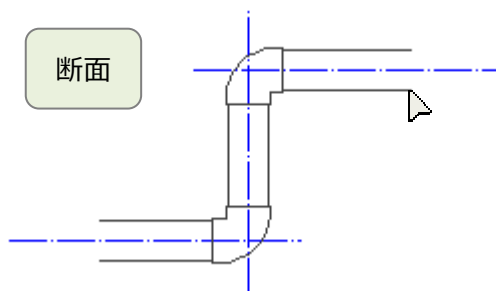


- 複線丸ダクト，複線配管を連続作画中に、サイズを変更した場合、コンテキストメニューで設定している「レベル基準位置」に従った、ホッパー，レジューサが発生するように改善しました。
 - ・「レベル基準位置」が「芯」の場合…同芯ホッパー，レジューサが発生
 - ・「レベル基準位置」が「下端」，「上端」の場合…偏芯ホッパー，レジューサが発生
[平面で複線配管を下端基準で作画した場合の例]



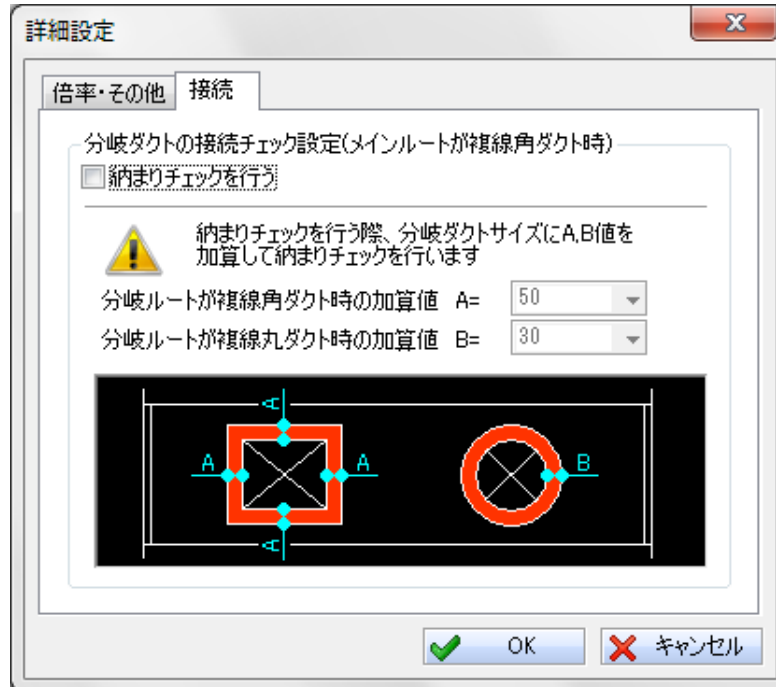
- 複線角・丸ダクト，複線配管を断面で作画する際、作画基準点が、コンテキストメニューの「レベル基準位置」に従うように改善しました。
なお、断面にて縦管を作画する場合は、「レベル基準位置」の設定によらず、芯固定になります。

[断面で複線配管を下端基準で連続作画した場合の例]



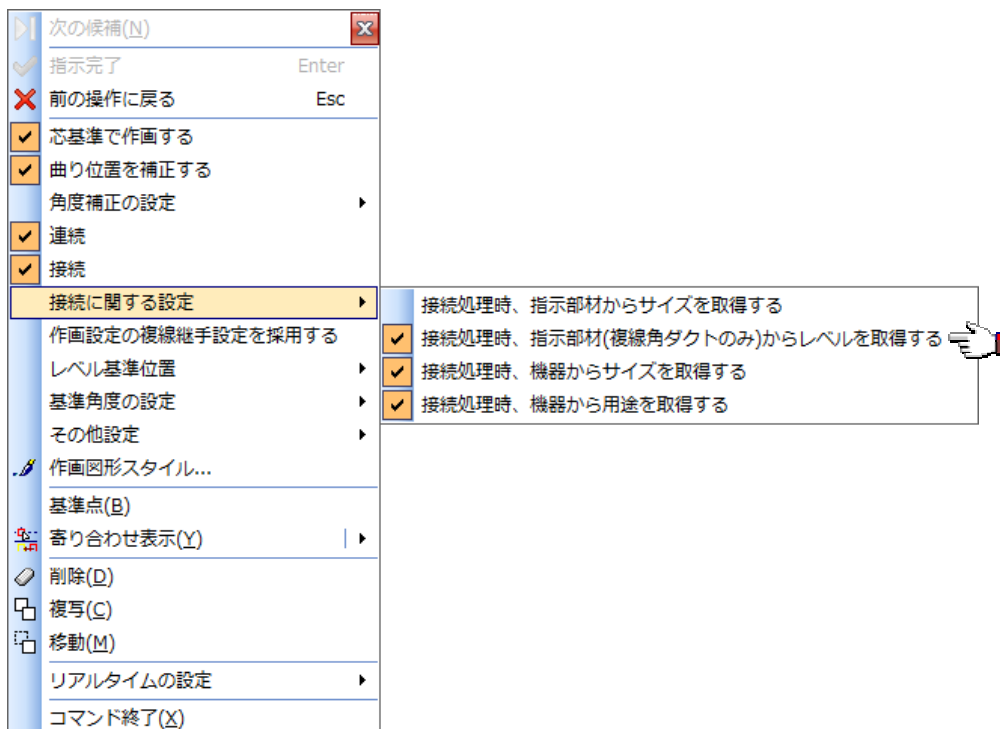
- 作画済みのメインルート（複線角ダクト）から分岐ルートを取り出す場合、メインルートに対する分岐ルートの納まりチェック機能を追加しました。

なお、納まりチェックの対象となる分岐継手は、「ヒョットコ」または、「ドン付」です。



- コンテキストメニューの「その他設定」内にあった接続処理の設定を、「接続に関する設定」として別項目に分けました。

また、ダクトの接続処理の設定として、指示部材が複線角ダクトの場合、指示部材のレベルを取得する、しないの設定を追加しました。



2. 継手配置系コマンド 【機能改善】

- 「鋼管（A管）系の直管，継手，バルブ」と「一般配管用SUS管（Su管）系の直管，継手，バルブ」について、呼径が異なっても外径が同じものについては下表の置換を行い、相互配置ができるように改善しました。

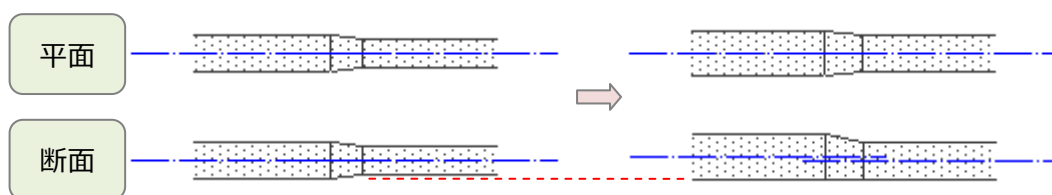
鋼管（A管）系の 呼径	⇔ 置換	一般配管用SUS管（Su管）系の 呼径
15	⇔	20
20	⇔	25
25	⇔	30
32	⇔	40
40	⇔	50
50	⇔	60
65	⇔	75

3. サイズ変更コマンド 【機能追加】

- 複線丸ダクト、配管のサイズ変更機能に複線角ダクトと同じ、上端/下端基準での変更機能を追加しました。



[複線配管を下端基準でサイズ変更した場合]



4. 材料集計コマンド 【機能改善】

- フレキシブルバルブを流用してバルブをユーザ登録した物を、材料集計コマンドで出力した際、ユーザ登録時の名称で出力するように改善しました。

以上